

2月28日（水） 朝礼のお話

## 人の手のすばらしさⅡ

今、学校ではけやきミュージアムが開催中です。皆さんの作った作品が多目的ホールうめてちょっとすてきな美術館になっています。学校の作品展はどの作品も作った人がわかるのが良いですね。「あの人がこんな作品を作るんだ！」という新鮮な驚きがあったりします。

さて、このミュージアムに並ぶ作品を作り出したのはあなたの手です。今日はこの人間の手についてのお話をしたいと思います。

あなたの手を良く見て下さい。いつも見慣れている手ですが、よくよく見ると実によくできていることがわかります。他の多くの動物と比べて一番の特徴は親指の位置です。他の4本の指とは違う向きについています。これによって物をしっかりとつかむことができ、色々な道具を上手に使うことができます。鉄棒をやる時に親指をほかの指とは反対側から曲げることでしっかりと鉄棒をつかめることを知っていますね。そして人間の手とは違って、動物の多くは手の指があまり発達していません。モグラの指は上手に土をほるために指が全部同じ方向になっています。私たちの手のように親指が横についていません。この手ではものを上手に持つことはできません。パンダなども食べ物を持って食べていますが、それよりもずっとしっかり、上手にものを持てるのが私たちの手です。そしてこの5本の指。細かな仕事を実に上手にできる仕組みになっています。この細やかな動きのできる指があるからこそ、私たち人間は様々なものを生み出してこられたと言っていると思います。

人間の文明、私たちの素晴らしい暮らしを創り出してきたこの人間の手ですが、今それが失われつつあると言う人がいます。あなたはこの素晴らしい手を毎日しっかりと使っていますか？今、子どもたちが手を使ってやる仕事や遊びをしなくなっていることで、この素晴らしい手の力がなくなってきてしまっているというのです。ゲームのスイッチを押したりスマートフォンの画面を操作するのはあなたの手の力の十分の一も使っていることになりません。これではせっかく素晴らしい手を持っていても、それを使っていないことになり、その力もだんだんと衰えて、できないことが多くなってしまいます。ロボットがどんなに発達しても、人間の手の力にはかなわないことがたくさんあります。あなたの手がロボットに負けてしまわないように、ぜひ色々なことにあなたの手を使ってほしいと思います。

そして最後にもう一つ。あなたの手を動かしているのは脳です。つまり、手をたくさん動かすことは脳を鍛える、つまり頭が良くなることにもつながっているのです。なるほど、色々なことにたくさん手を使っている人には頭の良い人が多いようです。

今日はけやきミュージアムの作品作りから人間の手についてのお話しをしました。今日も最後まで一生懸命聴いてくれてありがとう。お話を終わります。